2007年度

いちかわりは特物館だより

あたりまえの風景に あたりまえの生き物に あたらしいときめきがある!



特徴。右側がオス、左側がメス。腹端にウチワのような付属物があるのがウチワヤンマの交尾

いきもの

撮影: 土居幸雄さん

- P1 いきもの写真館 ◎ウチワヤンマの交尾
- P2 観察ガイド 8月から9月のおすすめ ◎夏の雑木林に群落が出現 ほか
- P3 街かど自然探訪 ◎下貝塚・地層の観察 くすのきのあるバス通りから ◎アブラゼミ見つけた!
- P4 近隣博物館めぐり 一管平高原自然館

- 自然博物館の活動紹介 P 5 ●長田谷津環境整備
- P6 自然博物館 スポットライト ・カクレクマノミ

わたしの標本 ◎ヒメハルゼミ

- P7 わたしの観察ノート № № 5月~6月ごろの記録
- P8 行事案内



# 銀際ガイド83月から9月のおすすめ8



### 夏の雑木林に群落が出現 ーキツネノカミソリー

強烈な日差しが照りつける8月の堀之内貝塚公園。 濃い陰が焼き付けられた林内にヤブ蚊を恐れずに分け 入ると、鮮やかなオレンジ色のお花畑に出会うことが できます。キツネノカミソリ(写真)の群落です。年 によって変動はありますが、例年8月の第1週あたり が見ごろで、博物館でもキツネノカミソリを見る行事 を計画しています(行事案内参照)。春に葉を茂らせ、 一度葉が枯れた後、真夏に茎だけをすっと伸ばして花 を咲かせる姿は一風変わっていますが、同じなかまの ヒガンバナを考えると納得がいきます。



### 鳴く虫たちの音色 一カネタタキ、クツワムシー

8月のお盆休みを過ぎるころから、虫たちが奏でる秋の音色が耳に届くようになります。大町公園では、梅雨の頃からキンヒバリやヒメギスが鳴いていますが、



住宅地で虫の声を耳にするようになるのは、やは りこの頃からです。日没とともに樹上でにぎやか に鳴くアオマツムシや、庭先の植木鉢で昼夜を問 わずに鳴くカネタタキ (写真) などは身近な種類 です。博物館主催の「虫の声を聴こう」では、ク ツワムシの大合唱を聴くことができます (行事案 内参照)。

### 秋の七草 ーフジバカマー

里見公園の下、かつての坂川の流路が保全された一帯には、秋の七草のひとつであるフジバカマ(写真)が群生しています。この場所は、絶滅が心配される野草・フジバカマの千葉県内唯一の自生地で、多くの人が心を配って群落の保全に配慮しています。見ごろは9月の上旬から中旬頃。江戸川べりの駐車場から新堤防下に沿って進むと、長さ 100mほどにわたってフジバカマが群生しています。花にはたくさんの虫たちも来ていますから、そちらの観察もあわせて楽しめます。





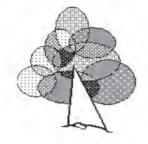
しもかいづか

### 下貝塚・地層の観察

大野中央病院の南側の道を西に向かうと、住宅の裏に崖が見えます。かつては市内のあちらこちらに大きな崖がありましたが、関東ローム層(赤土など)とその下の成田層を比べながら地層を詳しく観察できる崖は、今ではここだけになってしまいました。二つの層の間にある「市川砂層」は、市川でも限られた地域で見られ、砂と小砂利の中に丸くて硬い小石が見つかります。山のない北総地域では石を産しないので、この小石がどのようにして市川まで運ばれてきたか、謎です。



△個人の方の畑の中です。 必ず声をかけてから近づきましょう。



### くすのきのあるバス通りから No.56

### アブラゼミ見つけた!

今年は、昆虫の動きが早いそうです。 7月2日の夕方、京成八幡駅近くの、木 造家屋で草が茂っているお宅の庭から 「ジー」と鳴き声が聞こえました。「え っ、セミかな」「ニイニイゼミかな、ア ブラゼミだったみたい」「今年は、まだ ニイニイゼミ聞いてないし、もうアブラ ゼミが羽化したのかな」と娘と話しなが らどこにいるか探しました。塀際の木に

いたのでアブラゼミだと分かりました。 セミは飛んで、近くの家の壁に止まり鳴き出しました。「やっぱり、アブラゼミだ」と追いかけていくと、また飛び立って家の隙間を飛んでいきました。その後、「ジジッ」とあわてて飛び立つ時の鳴き声は八幡6丁目や宮久保で聞いています。気温は高くても梅雨空では鳴かないのでしょうか。

(M. M.)

## 近隣博物館めぐり



### ●長野県に市川市がある!?

長野県の菅平高原に市川市の施設「いちかわ村」があるのをご存知でしょうか?学校も夏休みに入り、いよいよ夏本番、涼を求めて少し遠出してみましょう。なお、「いちかわ村」の受付や案内は、市川市教育委員会生涯学習振興課で行っています。

(電話 334·1111 内線 4315·4316)

### ■風さわやかな菅平高原へ

東京から長野新幹線で約1時間半、上田駅で下車します。ここから路線バスに乗り換え、50分ほどで「菅平高原」に着きます。季節によって違いますが、1日数本の運行です。いちかわ村に宿泊する方は、バス停まで車で迎えにきてくれます。

菅平高原は長野県北東部に位置し、中央部の標高は約1300m、東西10km、南北7kmの広大な高原です。浅間山、谷川岳、志賀高原などとともに上信越高原国立公園に含まれています。年間を通して雨の日は少なく、8月の平均気温が19℃と乾燥した涼しい日が多いようです。

### ●火山の噴火によって生まれた菅平湿原

菅平高原の中央部近く、菅平郵便局の角を西の方に歩いて5分ほどのところに菅平湿原があります。この湿原は、数万年前に噴火した旧四阿(bftを)火山の溶岩が谷をせき止めて大きな湖ができ、それが次第に水位が下がって湖の底の部分が湿原になったものです。湿原には一周約1kmの木道が設置されており、ミズバショウ、サワオグルマ、カラフトイバラ、バイケイソウ、ヤチアザミなどの花が見られます。ま

た、オオルリボシヤンマやヒョウモンチョウなどの昆虫類、オオヨシキリ、アカゲラなどの鳥類、そして時には、ニホンカモシカも見ることもできます。

### ●菅平高原自然館の展示

菅平湿原入口に菅平高原自然館があります。ここは、6月1日から9月30日の夏季期間のみ開館しています。展示室はさほど広くはありませんが、剥製や標本を中心にして菅平高原の自然や歴史に関する情報がぎっしり詰まっています。

展示室に入ると正面に大規模なジオラマがあり、ツキノワグマやニホンカモシカの剥製に圧倒されます。右側には、長野県内の主な岩石と産出した化石が並んでいます。中央には、ガラスケースが並び、菅平の昆虫標本がおよそ 900 種類も展示されています。中でも目をひくのが、長野県指定天然記念物のミヤマモンキチョウとミヤマシロチョウの標本です。このほかにもトンボ、セミ、チョウなど市川市内には見られないものも数多くあります。



△菅平湿原入口にある菅平高原自然館 (所在地)〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223 (電 話) 0268-74-2438



### 湿地の環境整備

平成 19 年 6 月 24 日 (日) 午前 10 時~11 時 30 分 大町公園(長田谷津)にて (参加 大人9人)

### ●活動の趣旨

大町公園内にある長田谷津は、いまから 30年以上前に当時の休耕田を市川市が買い 取って保全した自然公園です。ところが、 時間の経過とともに公園内の植物群落の遷 移が進み、斜面林は茂り湿地はアシ原とな すも大きく様変わりしてしまいました。

そこで、市民の方の参加を得て、長田谷 津の自然を維持するための活動を始めまし た。それが、湿地の環境整備です。

#### ●作業の内容

湿地の環境整備には、大きく2つの作業 があります。ひとつは、大きく茂った草の 刈り取りです。大型の植物が繁茂した場所 では小型の野草が生えることができないほ か、水面が隠れてしまうのでトンボなどの 生き物も生息しにくくなります。子どもた ちの体験学習の運営も、難しくなります。 そのため、春~秋に草刈りを行います。

もうひとつは、湿地の掘り上げです。30 年の間に、長田谷津の湿地はずいぶん埋ま りました。豊富な湧き水は、地表に現れる ことなく地下水の状態で湿地を移動するよ うになりました。この地下水は、地表面の 高さをわずかに下げるだけで、かつてのよ うに地表に姿を現します。そのために、お もに冬、湿地の掘り上げを行います。

### ●6月の作業

6月24日は、冬に掘り上げて作った水路 のまわりの草を刈り取りました。この水路 は、園路の真下にあった水路を付け替えた もので、園路を歩きながら水の流れが見ら れる位置に作りました。6月に入り、草の り、開設当初にくらべて風景も自然のよう繁茂で水路が見えなくなってきたので草を 刈りました。もちろん、畑の草取りではな いので、ある程度の野草を残すことも踏ま えながら、必要なだけの見通しを確保する ようにして行ないました。



△園路に沿って水路を新設しました。

## 0

### 自然博物館 スポットライト

### カクレクマノミ

自然博物館受付の水槽にカクレクマノミが1匹いて、小さい子供から大人まで来館者が立ち止まって、「ニモだ!」と言って覗き込んでいきます。カクレクマノミは、映画「ファインディングニモ」で、多くの人に知られるようになった熱帯魚で、日本では奄美大島以南に生息し、ハタゴイソギンチャクやセンジュイソギンチャクと共生して生活しています。人工繁殖されたカクレクマノミを平成17年10月に寄贈していただきました。



# わたしの標本

### ヒメハルゼミ

「ヒメハルゼミ」は、千葉県の茂原市 で最初に発見されたセミで、オスが集団 で「ウィーン、ウィーン」いう鳴き声で 合唱する習性があり、千葉県では、房総 丘陵の照葉樹林だけに生息しています。

この標本は、平成6年7月に市内在勤のAさんが旧天津小湊町の清澄寺近くの街灯で虫採りをしていたときに飛んできた個体を採集し、届けて頂いたものを博物館で標本にしたものです。標本は、メスで、翅の長さが32.0mmあります。



△旧天津小湊町(現鴨川市)で採集されたヒメハルゼミ



### ▶大町公園より -

・エゴツルクビオトシブミが、エゴノキ の若葉に産卵するためのゆりかごをつ くっていました(5/2)。

小川 晃(自然博物館)

・昨年話題にのぼったツマグロヒョウモ ン、ナガサキアゲハのほかアオスジア ゲハも見られました(5/11)。

金子謙一(自然博物館)

- クロスジギンヤンマの産卵が見られま した(5/14)。
- ・ミドリシジミが8頭見られました (6/9)。今期初です。

以上 土居幸雄さん(大町在住)

- 水路脇の杭にミカドオオアリがいまし た(6/16)。
- ・ニイニイゼミが鳴いていました(6/24)。

### ◆大町より —

・駐車場脇の道端にカラスビシャクが生 えていました(5/20)。昨年は確認でき ませんでした。

### ◆大野町より \_\_\_\_

・市川北高校周辺の田んぼの周りに多数 のアキアカネがいました(6/16)。

以上 K.H. さん

### ◆八幡付近より ———

ショウジョウトンボの死骸を拾いまし た(6/4)。

M. M. さん

### ◆市内某所 —

・雑木林で低い木の枝がはらわれた後に 突然キンランが 20 株ほど出現しまし た(5/1)。まだ蕾でした。次の日1、 2株を残して花の部分をつみとられて しまいました。

谷口浩之さん(北国分在住)

### ◆坂川旧河口周辺より \_\_\_\_\_

・オオバン2羽が江戸川を、東京都側か ら市川市側へ泳いで渡りました(6/23)。 これまでは冬鳥としての観察だけでし たが、越夏記録は初めてのことです。 あるいは繁殖している可能性もありそ うです。

### ◆市内某所

・ケヤキの枝先にアオバズクの成鳥1羽 がとまっていました(6/3)。今年の初 認です。その後よく眠っているのを見 たり(6/9、16、17)、睨まれたり(6/10) しました。ハシブトガラスが近くで騒 ぐと右目だけ開けたり(6/23)、鳴き声 を出して飛び過ぎたハシブトガラスを 右目だけで追い、安全が確認されると 再び目をつぶってしまうのを(6/30)観 察しました。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

強烈な雨や大風、落雷、雹(ひょう)など大気 の状態が不安定でよく変わる天気でした。



## 行 事 案 内



### 自然観察会 お申し込みが必要な行事です。

市内の自然豊かな場所に行って、親子で楽しく自然観察をします。 定員:各回先着20名

テーマ 日時 場所 受付開始日

虫の声を聴こう 9月8日(日)午後6~8時 博物館周辺 8月18日~

バッタさがし 10月14日(日)午前 坂川旧河口 9月22日~

### 〒申し込み方法〒

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、 参加したい行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

### 季節を感じる 散 策 会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

\*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テーマ 日時 場所

キツネノカミソリを求めて 8月 5日(日) 午前10時~11時30分 堀之内貝塚公園

秋 の 野 草 9月16日(日) 午前10時~11時30分 長田谷津

秋の水田 10月21日(日) 午前10時~11時30分 市川北高校周辺~市営霊園

### 長田谷津ボランティア

### 湿地の環境整備をお手伝いしてくださいませんか。(雨天中止)

- ・日 時 9月23日 (8月はお休みです)
- 集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

### 野草名札付けのお手伝いをしてくださいませんか。〉(申し込み不要・兩天中止)

- ・日 時 9月2日 (8月はお休みです)
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。

### 名前をしらべる会

植物・昆虫・貝・岩石などの標本に、 専門の先生が名前をつけます。

- ・日にち 8月26日回
- ·受付時間 午前 10 時~11 時 30 分 午後 1 時~ 3 時 30 分
- · 会 場 市川市市民会館

市立市川自然博物館だより 第19巻 第3号 (通巻第111号) 発行日/平成19年8月1日 編集・発行/市立市川自然博物館 〒272-0801千葉県市川市大町284番地 2047(339)0477

http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku